

YomiToku(AWS Marketplace 版)利用規約

第1条(規約)

1. YomiToku(AWS Marketplace 版)利用規約(以下「本規約」といいます。)は、AI 文書画像解析エンジン提供サービスたる「YomiToku」(サービスの名称・内容が変更された場合の変更後の名称・内容も含みます。以下「本サービス」といいます。)を AWS Marketplace(以下「AWS MP」といいます。)を通じて利用するユーザー(以下「ユーザー」といいます。)と本サービスの開発者 及び提供者である MLism 株式会社(以下「当社」といいます。)との間の本サービスの利用に関する基本的な事項を定めています。本サービスの利用に際しては、本規約の全文をお読みいただいたうえで、本規約に同意いただき、かつ、AWS 利用規約その他の AWS MP 又は AWS に適用される規約やガイドライン、ポリシー等 AWS MP が提供する規約等(以下「AWS 利用規約等」といいます。)を遵守頂く必要があります。
2. 本規約は、本サービスについて、提供条件等の登録希望者又はユーザーと当社との間の本サービス利用に関する事項を定めており、ユーザーと当社との間の本サービスの利用に関わる一切の関係に適用されます。
3. 本規約のほか、AWS MP 上、あるいは当社が運営する本サービスを提供するウェブサイト(理由の如何を問わず、当社のウェブサイトのドメイン又は内容が変更された場合は、当該変更後のウェブサイトを含みます。)上に本サービスに関する個別規定や追加規定(ヘルプも含みます。)を掲載する場合、及び本規約とは別に「利用規約」・「ガイドライン」・「ポリシー」等の名称で当社が登録ユーザーに配布又は当社ウェブサイト上に掲載している本サービスに関する文書(以下「個別利用規約」といいます。)がある場合、それらは本規約の一部を構成するものとします。
4. 本規約の内容と前項の個別規定、追加規定又は個別利用規約とが抵触する場合には、当該個別規定、追加規定又は個別利用規約が優先して適用されるものとします。

第2条(規約の変更)

1. 当社は、民法第548条の4に基づき、当社が必要と判断する場合、ユーザーの事前の承諾を得ることなく、本規約の内容を変更することができます。
2. 当社が本規約の内容を変更し、その変更内容をユーザーに通知し周知した場合、通知において指定された変更後の規約の施行日以降に、本サービスを利用した場合、変更後の本規約に同意したものとみなし、変更後の本規約が適用されます。
3. 前 2 項の規定にかかわらず、法令上、ユーザーの同意やあらかじめ通知等が必要となるような内容の変更の場合は、当社の所定の方法でユーザーの同意を得、またはあらかじめ通知等を行うものとします。

第3条(連絡・通知)

1. 当社は、本サービスに関連してユーザーに通知をする場合には、当社が AWS MP 上に掲示する方法または登録されたユーザー指定の電子メールアドレス・住所・SMS に宛てて電子メール・文書を送信・送付する方法など、当社が適当と判断する方法で実施します。
2. 前項に定める方法により行われた通知は、通知をユーザーが確認したか否かにかかわらず、前者の場合には通知内容が AWS MP に掲示された時点で、後者の場合は当社が電子メール・文書を発信した時点で、それぞれその効力を生じるものとします。

第4条(申込及び契約の成立等)

1. 本サービスの利用手続について正当な権限を有する本サービスの利用を希望する者(以下「登録希望者」といいます。)は、本規約を遵守することに同意し、かつ AWS MP が定める方法で、本サービスの利用の登録を申請することができます。
2. 前項に定める登録の完了時に、本規約の諸規定及び AWS 利用規約等に従った本サービスの利用契約がユーザーと当社との間に成立し、ユーザーは本サービスを利用できるようになります。
3. 本サービスの利用契約は、当社が権利を保有するソフトウェア(以下「本ソフトウェア」といいます。)の使用許諾をその内容とします。当社はユーザーに対し、本規約の定める条件に従い、本サービスの利用契約の有効期間中、当社が定める利用目的の範囲内において、ユーザーの組織内における業務のために本ソフトウェアを使用する、非独占的、譲渡不能、かつ担保提供不能な利用を許諾することとします。

第5条(登録の拒否)

当社は、登録希望者が次の各号のいずれかに該当する場合、当該登録希望者の登録(再登録を含みます)を拒否することがあります。なお、当社が本条により登録を拒否した場合、当社はその理由について一切の開示義務を負いません。

- (1) 本規約に違反するおそれがあると当社が判断した場合
- (2) 当社に提供した登録事項の全部または一部につき虚偽、誤記または記載漏れがあった場合
- (3) 反社会的勢力等(暴力団、暴力団員、右翼団体、反社会的勢力、その他これに準ずる者を意味します。以下同じ)である、または資金提供その他を通じて反社会的勢力等の維持、運営もしくは経営に協力もしくは関与する等反社会的勢力等との何らかの交流もしくは関与を行っていると当社が判断した場合
- (4) 登録希望者が過去に当社との契約に違反した者またはその関係者と当社が判断した場合
- (5) 過去に法令等の違反を行った事実を確認した場合
- (6) 同業他社であると当社が判断した場合
- (7) その他、当社が登録を適当でないと判断した場合

第6条(登録情報の変更)

ユーザーの登録事項に変更があった場合、ユーザーは AWS MP に対し、AWS MP の定める方法により当該変更事項を反映させるものとします。

第7条(パスワード及び ID の管理)

1. ユーザーは、自己の責任において、AWS MP に関するパスワード及びユーザーID を適切に管理及び保管するものとし、これを第三者に利用させ、または貸与、譲渡、名義変更、売買等をしてはならないものとします。

2. パスワードまたはユーザーID の管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用等によって生じた損害に関する責任はユーザーが負うものとし、当社は一切の責任を負わないものとします。

第8条(禁止事項)

ユーザーは、本サービスの利用にあたり、次の各号に該当する行為をしてはなりません。

- (1) 法令に違反する行為または犯罪行為に関連する行為
- (2) 正当な理由なく、利用者との間の契約について履行を遅滞すること
- (3) 公序良俗に反する行為
- (4) 当社またはその他の第三者の知的財産権(著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他の知的財産権のことを指し、それらの権利を取得し、またはそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みます。以下、同じ。)、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利または利益を侵害する行為
- (5) 虚偽の情報を、当社に対して提供すること
- (6) AWS 利用規約等に違反する、またはそのおそれのある行為
- (7) 本サービスの運営を妨害するおそれのある行為
- (8) 本サービスに対する逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等、またはその他本サービスのソースコード、構造、アイデア等を解析するような行為
- (9) スクレイピング、クローリング(クローラ、ロボット又はスパイダー等のプログラム)及びその他の類似の手段を用いて当社のネットワーク又はシステム等への不正なアクセス、もしくは不正なアクセスを試みる行為
- (10) 本サービスに関連するプログラムの修正、翻訳、変更、改造、解析等の行為
- (11) 当社の事前の承諾なく、本サービスを複製、変更、ホスト、ストリーム、再販、サブライセンス、ミラーサイト構築、貸与、譲渡、頒布、再許諾、付与、共有又は「サービスビューロー」として提供する等の行為
- (12) 本サービスに関連して、何らかのデータマイニング又は類似のデータ収集方法、およびデータ抽出方法を使用する行為
- (13) 第三者になりすます行為
- (14) 本サービスのアウトプットを他のモデルの開発又は学習に使用する行為
- (15) 本規約の各条項に違反する行為その他当社が不適切と判断する行為

2. 当社は、ユーザーが前項各号のいずれかに該当したときは、何らの通知や催告をすることなく利用契約を解除することができるものとします。この場合ユーザーが当社に対して支払った料金はその理由の如何を問わず返還されないものとします。

3. 当社は、前項に基づき当社が行った措置に基づきユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。

第9条(料金)

1. ユーザーは、当社が AWS MP を通じて定める本サービス利用料金及びその他各種手数料を、AWS MP にて指定する支払方法にて支払うものとします。

2. ユーザーが前項の利用料金及びその他各種手数料の支払いを遅滞した場合、ユーザーは当社に対し、年14.6%(1年を365日とした計算)の割合による遅延損害金を支払うものとします。

3. 本サービスを利用するために必要となる通信費、および通信機器等は、ユーザーの負担と責任により準備するものとします。但し、ユーザーの使用する通信機器等において、本サービスが正常に動作することを保証するものではありません。

第10条(本サービスの提供の停止・中断・終了)

1. 当社は、当社の判断により本サービスの全部又は一部の提供・運営を終了することができるものとします。当社は、当社の判断により本サービスの全部又は一部の提供・運営を終了する場合、当社が適当と判断する方法でユーザーにその旨通知いたします。ただし、緊急の場合はユーザーへの通知を行わない場合があります。

2. 当社は、以下各号の事由が生じた場合には、ユーザーに事前に通知することなく、本サービスの一部又は全部を一時的に中断することができるものとします。

- (1) 本サービス用のハード・ソフト・通信機器設備等に関わるメンテナンスや修理を定期的又は緊急に行う場合
- (2) アクセス過多、その他予期せぬ要因でシステムに負荷が集中した場合
- (3) 当社のセキュリティを確保する必要が生じた場合
- (4) ハッキングその他の方法により当社の保有する情報が流出等した場合
- (5) 電気通信ユーザーの役務が提供されない場合
- (6) 天災等の不可抗力で本サービスの提供が困難な場合
- (7) 火災、停電、その他の不慮の事故又は戦争、紛争、動乱、暴動、労働争議等により本サービスの提供が困難な場合

- (8) 法令又はこれらに基づく措置により本サービスの運営が不能となった場合
- (9) AWS MP または Amazon Web Services, Inc. の判断により本サービスの提供が中止される場合
- (10) その他前各号に準じ当社が必要と判断した場合

3. 当社は、本条に基づき当社が行った措置によりユーザーに生じた損害について、一切の責任を負いません。

第11条(権利の帰属)

1. 本サービス(本ソフトウェアを含む)に関する所有権及び知的財産権は全て当社又は当社にライセンスを許諾している者に帰属します。

2. ユーザーは、いかなる理由によっても当社又は当社にライセンスを許諾している者の知的財産権を侵害するおそれのある行為(逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングを含みますが、これに限定されません。)をしないものとします。

第12条(監査)

1. ユーザーは、当社又はその指定する代理人に対し、合理的な期間を前置して通知をした上で、本ソフトウェアの使用を監査する権利を与えるものとします。

2. ユーザーは、合理的な範囲で当社又はその指定する代理人の監査に協力し、本サービスの利用契約の遵守を確認するために合理的に請求される全ての記録を当社又はその指定する代理人に閲覧させるものとします。

3. 監査によって不遵守が判明した場合、ユーザーは、当社の他の権利に影響を与えることなく、その時点の料金を速やかに支払うことにより対処するものとします。

4. 監査により、本サービスの契約遵守の確認に要する正確な記録の提出をユーザーが故意に差し控え、若しくはその維持を著しく怠っていることが判明した場合、ユーザーは、当該監査で生じた全ての合理的な費用を速やかに当社に支払うものとします。

第13条(契約期間および解約)

本サービスの利用契約の契約期間は AWS MP におけるサブスクリプション開始日から終了日までとします。

第14条(登録抹消等)

1. 当社は、ユーザーが次の各号のいずれかに該当する場合、事前に通知または催告をすることなく、当該ユーザーの本サービスの利用を一時的に停止または登録を抹消し、もしくは、本サービスの利用契約を解除することができるものとします。

(1) ユーザーが本サービス上の取引によって生じた債務の支払いを怠った場合

(2) 本規約の各条項に違反した場合

(3) 当社に提供された登録情報に虚偽の事実があった場合

(4) 支払停止若しくは支払不能となり、又は破産手続開始、民事再生手続開始若しくはこれらに類する手続の開始の申立てがあった場合

(5) 当社の問合せその他の回答を求める連絡に対して14日間以上応答がない場合

(6) 本サービスの利用に際して、過去に本サービス利用停止又はアカウント削除等の措置を受けたことがある又は現在も受けている場合

(7) 反社会的勢力等であるか、又は資金提供その他を通じて反社会的勢力等の維持、運営若しくは経営に協力若しくは関与する等、反社会的勢力等との何らかの交流若しくは関与を行っていると当社が判断した場合

(8) 本サービスの運営・保守管理上必要であると当社が判断した場合

(9) 登録後、第5条に定める登録拒否事由が判明した場合

(10) その他各号に類する事由があると当社が判断した場合

2. ユーザーは、登録抹消後も、当社及びその他の第三者に対する利用契約上の一切の義務及び債務(損害賠償債務を含みますが、これに限りません。)を免れるものではありません。

3. 前項各号のいずれかに該当した場合、ユーザーは、当社に対して負っている債務の一切について当然に期限の利益を失い、直ちに全ての債務の支払を行わなければなりません。

4. 当社は、本条に基づき当社が行った行為によりユーザーに生じた損害について一切の責任を負いません。

第15条(保証の否認)

1. 当社は、本サービスによって提供された一切の情報に関する内容・品質・正確性・適法性(知的財産権や他人の権利非侵害を含む)・有用性・信憑性などを保証するものではありません。

2. 当社は、本サービスがユーザーの特定の目的に適合すること、正確性・有用性・完全性を有すること、及び不具合が生じないことについて、何ら保証するものではありません。

3. ユーザーは、本サービスを利用することが、ユーザーに適用のある法令、業界団体の内部規則等に違反するか否かを自己の責任と費用に基づいて調査するものとし、当社は、ユーザーによる本サービスの利用が、ユーザーに適用のある法令、業界団体の内部規則等に適合することを何ら保証するものではありません。

4. 当社は、本サービスを円滑に提供するための合理的な努力を行い、サービスの中断があった場合に合理的時間内において本サービスを復旧する努力を行いますが、安定したシステムの永続的提供、運営を保証するものではありません。

5. AWS 若しくは AWS MP 又はその両方に不具合等(サービスの変更・停止・廃止等を含みます。)が発生した場合でも当社は一切の責任を免れるものとします。

第16条(不可抗力)

1. 当社は、通常講ずべき対策では防止できないウィルス被害、ハッキング被害、停電被害、サーバ故障、回線障害、および天変地異による被害、その他当社の責によらない不可抗力に基づく事由(以下「不可抗力」といいます。)による損害がユーザーに生じた場合でも、一切の責任を負わないものとします。
2. 当社は、不可抗力に起因して本サービスにおいて管理または提供されるデータが消去・変更されないことを保証しません。

第17条(ユーザーと第三者との間の紛争)

本サービスの利用に関連して発生したユーザーと第三者との間の紛争は、ユーザーが自己の費用および責任で解決するものとし、当社に何らの迷惑または損害を与えないものとします。ユーザーと第三者との間の紛争に関連して当社に損害が発生した場合、ユーザーは当社に発生した一切の損害(弁護士費用等を含む)を賠償するものとします。但し、当社の責めに帰すべき事由により生じた場合はこの限りではありません。

第18条(紛争処理及び損害賠償)

1. ユーザーは自己の責任において本サービスを利用するものとし、当社は、本規約に違反したことによって生じたユーザーの損害については、一切の責任を負いません。
2. ユーザーは、本規約に違反することにより、又は本サービスの利用に関連して当社に損害を与えた場合、当社に対しその全ての損害(弁護士等専門家費用及び当社において対応に要した人件費相当額を含みます。)を賠償しなければなりません。
3. 本サービスの利用に関連してユーザーが被った損害について、当社が法令上損害賠償義務を負担する場合(本規約の当社を免責する旨の規定が無効と判断されたことにより当社が損害賠償義務を負担する場合を含みます。)でも、ユーザーに現実発生した直接かつ通常の損害に限り、これを賠償する責任を負うものとし、付随的損害、間接損害、特別損害(損害の発生を予見し又は予見し得た場合を含みます。)、将来の損害及び逸失利益にかかる損害を含まず、損害賠償額の上限は、法令で許容される限り、過去12か月間に当社がユーザーから現実受領した本サービスの料金とします。但し、当社に故意・重過失がある場合はこの限りではございません。

第19条(利用者情報の取扱い)

当社は、当社が保有するユーザーにかかる利用者情報(個人情報保護法に定義する個人情報のほか、ユーザーが本サービスの利用を申し込む時に当社に提供する情報等をいいます)については、当社が別途定める個人情報保護方針あるいはプライバシーポリシーに基づいて適正に取り扱うものとし、ユーザーはこれに同意するものとします。

第20条(再委託)

当社は、本サービスの提供に関して、全部又は一部の業務を、当社の責任において第三者に再委託できるものとします。この場合、当社は、委託先を適切に選定し、必要かつ適切な監督を行います。

第21条(サービス利用上の地位の譲渡等)

1. ユーザーは、書面による事前の承諾なく、本規約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることはできません。
2. 当社が本サービスにかかる事業を第三者に譲渡した場合、当社は、当該事業譲渡に伴い、本規約上の地位、本規約に基づく権利及び義務並びに当社の保有するユーザーに関する情報を当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとし、ユーザーは、かかる譲渡につき本項によって予め同意したものとします。なお、本項に定める事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第22条(分離可能性)

1. 本規約のいずれかの条項又はその一部が、法令等により無効又は執行不能と判断された場合であっても、本規約の残りの規定及び一部が無効又は執行不能と判断された規定の残りの部分は、継続して完全に効力を有し、ユーザー及び当社は、当該無効若しくは執行不能の条項又は部分を適法とし、執行力を持たせるために必要な範囲で修正し、当該無効若しくは執行不能な条項又は部分の趣旨並びに法律的及び経済的に同等の効果を確保できるように努めるものとします。
2. 本規約のいずれかの条項又はその一部が、あるユーザーとの関係で無効又は執行不能と判断された場合であっても、他のユーザーとの関係における有効性等には影響を及ぼさないものとします。

第23条(存続規定)

第7条2項、第8条2、3項、第9条2項、第10条3項、第11条、第12条第4項、第13条2項、第14条2、3項並びに第15条から第25条までの規定及び本サービスの利用終了後も存続すると合理的に解釈することができる規定については、本サービスの利用終了後も有効に存続するものとします。

第24条(準拠法及び管轄裁判所)

本規約の準拠法は日本法とし、本規約に起因したまたは関連する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

第25条(協議解決)

ユーザー及び当社は、本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合には、互いに信義誠実の原則に従って協議の上速やかに解決を図るものとします。

附則

2025 年 11 月 7 日 制定・施行